

科目名	専門分野				ディプロマ・ポリシー(DP)	DP1 DP4	DP2 DP5	DP3 DP6
	臨地実習				担当教員	専任（基幹）教員		
	地域・在宅看護論実習							
履修学年	3 年	履修学期	後期	単位数	2	時間数	1 0 9	
授業目標	1. 地域で暮らしている療養者や家族がその人らしい療養生活を送り続けるための継続看護を理解する。 2. 患者が安心して在宅へ戻る際、患者の健康問題が解決に向かい在宅で暮らせるよう調整する看護師の役割を理解する。 3. 地域社会における保健・医療・福祉の実態と連携の必要性を知り、看護師の役割を理解する。							
授業計画 授業内容	1) 訪問看護ステーション実習（7日間） 方法：訪問看護を受ける在宅療養者を1名受け持ち、在宅看護のプロセスを展開する。 場所：訪問看護ステーション 2) 看護小規模多機能型居宅介護実習（3日間） 方法：看護師と共に訪問・デイサービス・ショートステイの機能を活かした療養者や家族への支援や他職種との連携を学ぶ。 場所：看護小規模多機能型居宅介護事業所 3) 入退院支援室（2日間） 方法：退院支援看護師と共に退院後の在宅への移行支援のためのカンファレンスや会議などに参加する。 場所：済生会唐津病院 入退院支援室 4) 居宅介護支援事業所実習（2日間） 方法：介護支援専門員と共に利用者宅への訪問や担当者会議に参加する。 場所：居宅介護支援事業所							
評価規準 評価方法	ポートフォリオ・ルーブリック評価							
履修上の 注意点								